

8ヶ月目
(満28週～31週6日)

早産？あなたの注意で予防しましょう



8ヶ月を迎える頃から妊娠高血圧症候群になりやすいときです。
体重の増加やむくみに気をつけてください。

妊娠22週から36週までに生まれてしまうのが早産。特に34週までに生まれた早産児は呼吸障害を起こす可能性があるため予防が必要です。

早産の原因は

- 筋腫、双角子宮、頸管無力症などの子宮の異常
- 多胎、羊水過多症、前置胎盤など胎児やその付属物の異常
- 腔内や子宮内の感染
- 妊娠高血圧症候群、慢性腎炎、心臓病などの母体の疾患
- ストレスや心身の過労

早産を予防するためには…

早産は早期に発見することで防止できるため、次の症状がある場合には病院の指示を受けてください。

- ほんの少し出血がある
- お腹がはって下腹が痛む
- 水のようなものが流れる
- おりものが多くなった
- 赤ちゃんの動きが鈍い





バースプランを書きましょう

“大切な赤ちゃんを産むのだから、納得のいくお産がしたい”

と願うのはパパもママもそして、私たちスタッフも同じです。

そんな願いをかなえるために妊娠中から

お産や赤ちゃんについて積極的に考えて準備しましょう。

あなたの思いをありのままにお書きください。

きっと、パパもママも赤ちゃんも楽しいマタニティライフを

過ごせるでしょう。36週頃に記入の上ご持参ください。

書き方がわからない場合や、ご相談は外来スタッフへ。



8ヶ月目
(満28週～31週6日)

後期マザークラスのご案内



安定した妊娠期間が終わりに近づき、いよいよお産の準備に取りかかっていただく時期になってきました。

楽なお産をしていただくために、妊婦体操とリラックス、呼吸法の練習をしましょう。後期マザークラスか両親学級のどちらかをお選びください。

■ **対象** 妊娠30週から34週の妊婦さん(予約制)

■ **日時** 火曜日
9:00～11:30

■ **場所** ハーティーハウス1階セミナールーム

■ **持ってくるもの** 母子健康手帳、
あぐらのくめる服装(ズボンなど)

- **内容** ①お産のすすみ方と過ごし方について
- ②ビデオ鑑賞
- ③院内見学

※予約コーナー・当院ホームページからご自身でご予約ください。
※開始時間の10分前にはお越しく下さい。
※お子さま連れでの受講はご遠慮ください。

